



山武市立山武望洋中学校

なごみだより

令和7年5月

5月になり木々の若葉も成長し、さわやかな時季となりました。みなさんの心と体のバランスはいかがでしょう。なごみルームは、みなさんが安心して中学校生活を送れるように寄り添い、心のサポートをしていきます。悩みや不安があるときはひとりで抱えずに、相談をしてくださいね。ちょっとおしゃべりがしたいなと思うときも是非利用してください。お待ちしております。

火・水・金曜日・・・心の教室相談員 岩澤

木曜日・・・スクールカウンセラー 江波戸



なごみルーム5月の予定

月	火	水	木	金	土	日
			1	2 岩澤	3	4
5	6	7 岩澤	8 岩澤・江波戸	9	10	11
12	13 岩澤	14 岩澤	15 江波戸	16 岩澤	17	18
19	20 岩澤	21 岩澤	22 岩澤・江波戸	23	24	25
26	27 岩澤	28 岩澤	29 江波戸	30 岩澤	31	
なごみルームの前にも今月の相談日の予定を掲示してあります						

相談したいときは…保健室の小関先生や担任の先生、教頭先生、その他の先生、誰にでもよいので「相談員、またはスクールカウンセラーと相談がしたい。」と希望を言って予約を入れてもらいましょう。私たちに直接「今日、相談がしたい。」と伝えるのも良いです。

保護者の皆様へ

なごみルームでは保護者の皆様のお子様に関する心配なこと、不安なことに対するご相談も受け付けております。面談をご希望の方は、学級担任、養護教諭、教頭を通じてお申し込みください。

山武望洋中学校（0479-86-4411）

山武望洋中の皆さん、こんにちは。新年度が始まって、一か月が経ちました。少しずつ、新しい環境に慣れてきた頃だと思えますが、疲れも出やすい時期なので、3食しっかり食べて、睡眠時間も確保しましょう。

さて、皆さんはロックバンド「RADWIMPS」の曲を聴いたことがありますか。いい曲がたくさんありますね。そんな人気バンド、ラッドのドラマー山口智史さんは、2015年に無期限の活動休止を決めました。ジストニアという神経の病気を患い、ペダルを踏み込むバスドラムを鳴らす操作が、思うようにできなくなってしまったからです。不調があっても病気だとは思わず演奏活動を続け、診断を受けたのは2014年、原因が分かって救いはあったものの、治すのは難しいと言われて、呆然としたそうです。それでも大好きなバンドをやめられず、最終的にはドラムをたたけない状況になって、休まざるを得なくなってしまいました。

つらい日々の中でも時間の出来たことで、自分以外にもジストニアを患うドラマーがたくさんいることを知り、山口さんは慶応大学でミュージシャンのジストニアの研究を始めました。そして、脳と音楽の関係を専門とする米スタンフォード大学の藤岡孝子准教授と出会いました。山口さんが自分の経験を話すと、藤岡さんは涙を流して「つらかったんだね」と、強く共感してくれました。そこで山口さんも藤岡さんに魅せられ、渡米を決めました。藤岡さんは研究者としての心得を山口さんに厳しく指導し、「ドラムがたたけるようになるシステムを作りなさい」と、意外なことを言いました。山口さんは考えもしなかった言葉にびっくりしましたが、挑戦してみようと思いました。

もう一つ新しい出会いがあり、山口さんに、日系人の和太鼓グループ「サンノゼ太鼓」の人たちは新たなドラム開発のヒントをくれ、音楽本来の楽しさを再確認させてくれました。アドバイスを受けながら、山口さんは和太鼓をたたきました。「めっちゃ楽しい」長い間、ドラムを触っていなかった山口さんは、音楽を奏でるという「幸せ」を取り戻していきました。と同時に「ドン パ ドンパ」とサンノゼの演奏は、太鼓をたたく前にかけて声をかけていると気づき、これが声でバスドラムを操作する楽器作りにつながりました。去年の12月には、声をセンサーが検知し、音の出る仕組みのドラムセットをヤマハと共同開発して、発表しました。

「渡米して出会った人たちにたくさんの愛をもらった、言葉で言い表せないほど感謝している」山口さんはこれからも、音楽家と研究者の二足のわらじを履き続けていくそうです。

ドラマーが思うように脚を動かすことの出来ない病にかかってしまうのは、どんなに残酷なことかと思えます。山口さんは絶望の中でもがき苦しみながら、何かをつかもうとし続けました。人とのつながりを大切に続けました。山口さんの生き方は、これから長い人生を歩んでいく皆さんの道しるべとなるかもしれません。

今年度もなごみルームをよろしくお願ひします。